



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.563

‘16. 6. 19

「合発曲」2曲と「鶴」「ふるさとの四季」の レッスンを行いました！

6月17日

□6月17日(金)昴定例レッスンが18:00~20:30に行われました。佃さんの体操・伊藤さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で合唱発表会参加曲「わしらの朝は海からはじまる」を1時間にわたって、詞の表現・口の開け方と声の強弱・和音の確認 etc.。。と、パート毎の確認を含めて曲を作っていました。



□休憩をはさんで伊藤副指揮者の指揮のもと、「白樺」(合唱発表会参加曲)とロシア歌曲「鶴」をレッスンし、最後に「男声合唱のための唱歌メドレー ふるさとの四季から」「朧月夜」「夏は来ぬ」「村祭り」をレッスンしました。ピアノ伴奏は近藤静さん。参加者は全34名でした。



「わしらの朝は海からはじまる」一口レッスンメモ（6月17日レッスンより）

BR・BS 「ヨーシドット」の声の出し方：イメージが必要！力強く舟を漕いでいるイメージ。重心を低くして構えて重々しくの感じで！

「ヨ」「ド」力強く！「ヨー」：「ヨオー」と「オ」を口の奥から。

T1・T2 「おおい おーい おーい」：「オー」「オー」「オー」と口をたてにしっかり開けて！口の奥をあけて、のびやかな声で！締め付けない！

T1 「わしのむねをたたいてくれ」：リズムが必要。平板な歌い方でなく、「わし」「むね」「たたいて」をしっかりと響かせて出す。

T2 「しおなりーが」 T1 「うみなりーが」：しっかりとした声で！男前の歌い方で！

T1・T2 「うしないたくないふるさとー」：「とー」の和音が狂っているよ！T2の「と」の音程確保！

BS ソロ（17小節～20小節）

「くらいおもいそらに～」「ここはわしらのうみー」「おやじもそのまたおやじもー～」「いきてきたー」：要所要所発音はっきりと歌う！「くらい」「おもい」「そら」「たいよう」「のぼれば」「ここ」「わしら」・・と大事な詞をはっきりと響かせよう！T1・T2・BRのBGハーモニーに負けないように！

T1・T2・BR 「wu—wu--」：「図形」で覚える。「階名」（ドレミ）で歌わないで図形でイメージして

T1・T2・BR・BS（22小節～）「わしらのあさはー」

「わしらのあさはー」：f(フォルテ)でしっかり音を出す！22小節以降のこのフレーズは「はればれと」(作曲者注記)した気分の音を出して！もっと偉そうに！

T1 「あさはー」：平べったくならないで、広がりすぎない！縦に開けて！

T2 「たいようよりもー」：「もー」の音程確保！

BR・BS テンポしっかりと！詞はっきりと響かせて！

「おおゆくぞー」「わしらのうみへー」：途中切らないで続けて！

BR ソロ 31小節「しおかぜーを一きってゆけばー」：mp ことばかっこよく、男らしく！颯爽としたイメージで！

32小節「わしらのあさはーうみからはじまる」：途中切らないで続けること。

34小節「わしらのうみはーあさからはじまる」：　　〃

BR ソロ 37小節「ひきあげるーうおはうみからあがるーうおはー」：mp しっかりした言葉で響かせてうたう！（声は張り上げなくてよい。）

39小節「どれもはじけるいきのいいやつーーーー」：明るく晴れ晴れとした声で！

43小節～ T1・T2「おきへ」・BR「おきへ」・BS「おきへ」・T2「おきへ」・BS「おきへ」各パートがずれて歌うことによって繰り返す音の効果！ 45小節 T2・BR・BS「おきへ」3声しっかりと合わすこと！

「おおゆくぞーー」：「おお」BR・BSの音よろしくない！もっと響かせて！、T1・T2もう少し開かせて！

47小節～「うおのわくーうみへー」：テンポ・声あわせて！「うお」0.5拍、「の」0.5拍、「わく」の「わ」0.25拍、「くー」1拍、「うみ」0.25拍・0.25拍、「へー」1.25拍、歯切れよくうたうこと！
53小節～「ふかいうみ～」：テンポ少し早く（espressivo）

連絡事項・報告事項等

（1）第6回団内コンサート（8月28日（日）開催）にむけて、「エントリー用紙」の提出を6月19日（日）までにお願いします。（「団内コンサート」担当世話役へ）

曲目がまだ決まらない人は、候補曲をすべて書いて提出してください。また参加の諾否だけでも19日までに「用紙」を提出ねがいます。

（2）「中村声楽教室」が6月第1週より立ち上りました。

中村教室が6月第1週よりレッスンが開始されました。参加者からは、細やかな先生の指導のもと、「個人指導」が初めてのメンバーも多く、大変勉強になり、がんばって続けたいとの感想が寄せられています。また「千秋教室」も参加者が7名に増え引き続き研鑽を続けています。

（3）「第11回コンサートに向け、練習して歌いたい曲を」のアンケート用紙が配布されました。

技術部より、これから歌う歌の選曲に向けて参考にしたいという趣旨で、「アンケート調査」がされました。熟考のうえ、早急に提出してください。

（4）関西合唱団第81回定期演奏会のご案内

6月25日（土）18:30 6月26日（日）14:00 いずみホール

「What I should What to sing 今 なにをすべきか なにをうたうか」のテーマのもと、「3人の女性作曲家による作品「ワタヌナ」「スプーン一杯の」「Air」「今日は日曜日」「骨の歌う」「三つのイメージ」等。まだチケットは残っています。是非ご来場下さい。チケット関係は奥村・榎本まで



(5)「林光・カンタータ「脱出」を公募合唱団で歌うコンサート」

2016年7月28日(木)

寺嶋陸也ピアノ演奏・指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団出演、A席 6,000円・B席 5,000円・C席 3,000円(A/B席 500円引き)「十二月のおくりもの」実行委員会へ(TEL:072-428-7762へ)

(チケット予約は立川まで)

「鶴」レッスン一口メモ(1) (6月17日レッスンより)

1 小節目～5 小節目「ああああーあー ああああー あーああああーあーああああー」

最初の「あ」はお腹でしっかりと支えて、低い音だから響かせて、「あ」の声を出そうと思わないで、しっかりと口を開けて、p pで！(p pで出そうと思うと倍以上にお腹でしっかりと支えて出さないと出ない！)

2つ目の「あ」：1/3の声量で、いきなり強く歌わない！少し遅れて「あ」をふくらます。
BR・BS(低音パート)は響きのある声で、PPで！



(8小節～24小節)「わたしはふっとおもう」～「こえおもなくそらみまもるー」：

「おもーう」は「おもおう」と歌う。

静かな音調で、印象的な詞が続くが、「一つのフレーズ」を一言づつ刻んで歌わない。詞をフレーズの流れで。「わたしはふっとおもう きずつきかえらぬへいしらー」「いこくのつちにねむりー」「いつしかーしろいつるにー」：大事なことばの響きを大事にして！助詞は添えて、強く歌わない。「つち」はテヌート気味に。「いつしか」の「しか」は強く歌わない。「か」弱く。「しろーい」が強調したい詞。「つるはむかしからいまーもー」：「つるは」の「は」は小さくてよい。「つる」、「むかし」の「む」、「いま」に「い」がしっかり歌えればよい。「いまもー」の「い」を強く、「ま」弱く。

「鶴」を歌ううえで大事なこと

「このような静かな曲は最初の練習の時から、曲のイメージを思い浮かべながら歌詞を読む。フレーズを読む。そのフレーズの中の詞の強弱を感じるくせをつけないと、変なくせ(癖)でことば(詞)を刻んでしまうので、ゆったりしたくせがついて歌ってしまう。常に意識して「詩を語る・詩をうたう」練習を！」